

## 公表施設における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス STAY GOLD					公表日	R7 年 2 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		構造化はできているが、バリアフリー(階段)や防音対策ができていないため、環境面での障壁がある。できる範囲内での環境調整や対策は、今後も都度実施していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清潔で過ごせるように環境整備(掃除、消毒等)に努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	職員会議で毎回業務改善の議題は挙げて、話し合いや環境設定は実施している。定期的な効果測定やフィードバックなどは実施できていないため、今後の課題。	今後はきちんと取り組みに対して、客観的な効果測定、変化点を職員で共有し、定期的な評価と改善を繰り返していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		新規立ち上げのため、十分な評価期間がなかった。今年度より保護者様からの評価・フィードバックを実施。今後は年に1回実施予定。業務改善につなげていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月勉強会があり、受講する機会が設けられている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		記載すべき項目(目標)が漏れていた箇所があったため、今後はきちんとガイドラインに則った計画書を作成・更新していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				